

令和3年度 第2回日の出中学校浦安型コミュニティ・スクール設置準備委員会 議事要旨

- 1 開催日時 令和4年2月15日(火) 10:00~11:00
- 2 場 所 浦安市役所 4階S3会議室(オンライン会議)
- 3 出席者 (委員) 高柳委員長(教育総務部次長)
鳩岡委員(日の出中学校長)、米倉委員(日の出中学校教頭)、板倉委員(日の出中学校PTA会長)、大塚委員(日の出中学校学校評議員)、室井委員(日の出中学校学校支援コーディネーター)
(事務局) 教育政策課長、教育政策課係長、教育政策課係員
- 4 議 題 ① 合同会議における協議すべき議題について
② 今後のスケジュール・展望について

5 議事の概要

① 合同会議における協議すべき議題について

- ・合同会議で協議する内容が、「未来志向型」「課題解決型」の2つに分類されること、協議内容についてはバランスよく取舍選択することが必要である、ということについて説明した。

<委員の意見>

- ・協議内容が「未来志向型」と「課題解決型」に分類されることはわかったが、実際の合同会議の会議中でも、その協議内容が「未来志向型」か「課題解決型」かという確認をしていくのか。
- ・今まで行っている諸活動(「働ククエスト」やマナー講座など)も、合同会議内で一から活動内容を見直したり計画し直したりすることになるのか。
- ・「未来志向型」というのは、なかなか難しい。合同会議で協議される前に、言葉の定義をしっかり押さえておけば、「未来志向型」につながる協議ができるのだと思う。特に、学校の教育目標や目指す生徒像などを、会議内でしっかりと共通理解を図らなければならない。学校が目指している姿を、会議内の議論の土台として考えれば、未来志向型のテーマの協議も出てくるだろうと思う。

② 今後のスケジュール・展望について

- ・合同会議を開催する場合の1年間の開催スケジュールについて提案した。日の出中学校・日の出地区ではどのようなスケジュールがよいか検討をお願いした。
- ・来年度以降のコミュニティ・スクールの進め方について、長期的なスケジュールを提示した。また、別紙1および2を使用し、前回委員会で検討した日の出中学校合同会議参加会議体について再度提案をし検討をお願いした。具体的には、「(1)日の出中学校区の自治会すべてに依頼をし、任意で参加してもらう。」「(2)日の出中学校に隣接する自治会にだけ依頼をし、極力の参加を求める。」のどちらがよいかを検討してもらった。

<委員の意見>

- ・年4回の開催となるならば、資料に示してある通りの予定で構わないと思う。ただ、第1回目が5月となると、教育活動が始まってしまっているため、4月の末から連休前までの間に開催できることが望ましい。
- ・PTAも合同会議に参加するとすると、PTAの役員が決まってからでないと第1回の合同会議は開けないのではないか。

- ・（１）の方法で賛成だが、そもそも合同会議の参加について、自治会に声をかける意味とはどのようなものなのか。
- ・具体的なアクションにつながるか、ということが心配だったのでこのような質問をした。自分の自治会について考えると、自治会が主催で行う祭りに、中学校の吹奏楽部などに参加を依頼するとした場合、この合同会議を窓口にすることが考えられる。
- ・（１）の方法をとることで、なるべく多くの自治会の方に参加してほしい。まず、日の出中学校のことを理解してもらうところから始めて、地域の町づくりの中心みたいなものになればよいと考えている。将来的には、学校運営協議会が地域の拠り所となることを期待したい。そこから、子どもたちのよりよい成長につなげられれば、なおよいと思っている。
- ・（１）の方法がよい。独身寮の自治会も中学校区には存在しているので、新しい風を入れていくという点でもよいのではないかと。ただ、毎年役員が変わる自治会もあるので、近隣の自治会だけでもよいのでは、という思いもある。
- ・協議内容によるが、中学校の生徒をメンバーに入れてほしい。生徒会本部や部活動の部長など。内容によって、生徒とともに課題や活動について考えていくことが必要だと思う。
- ・「未来志向型」の議題を取り上げていくために、生徒が参加することはプラスになると思われるので、生徒の参加はとてもよいと思う。地域の住民より、「～がやりたい」という発想があるのではないかと。